

そう だい
総 題 「創世記」

だいさん か
第 3 課 カインと彼の遺産

まつえだしげのり
松枝重則

いち あんそくにちご
1. 安息日午後

そうせい きさんしょう つみ おか あと つち のろ ついほう づいほうご ちょうなん あた
創世記 3 章 でアダムが罪を犯した後、土は呪われ、アダムとエノヰは追放されました。追放後に長男が与え
られましたが、長男のカインは最初の殺人者になってしまいました。その後、レメクも罪を犯し、寿命は縮ま
り、悪が増加しました。創世記 4 章の悪い事件は全て創世記 3 章の罪の呪いの結果です。しかし、全ての希
望が失われたわけではありませんでした。

に にちようび
2. 日曜日：カインとアベル

そうせい き よんしょういち にせつ
創世記 4 章 1, 2 節には、
アダムの長男のカインが生まれた時、救い主が生まれたと期待して喜びました（創世記 4 章 1 節）。
アベルが生まれた時はそんなに喜ばなかったようです（創世記 4 章 2 節）。
カインの名前には貴重なるものを「獲得する」という意味があります。アダムとエノヰはカインが生まれたことによ
って救い主を獲得したと思っていたのです。
アベルという名前には「息」、「蒸気」、「空しさ」という意味があります。アベルの名前の意味からも、アベルは
救い主として期待されていなかったようです。

さん げつようび ふた ささ もの
3. 月曜日：二つの献げ物

かみ おし したが どうぶつ や つ ささ もの やさい ささ すく ぬし しん しんこう
アベルは神の教えに従い、動物の焼き尽くす献げ物と野菜を献げました。アベルは救い主を信じる「信仰」
によって血の献げ物を献げたので、献げ物は受け入れられました。
カインは神の教えに従わず、「土の実り」だけを献げました。カインは自分の作った野菜を献げて救いを得よ
うとしました。つまり、カインは「行い」によって救いを得ようとしたのです。
献げ物自体に価値はありません。献げ物には霊的な意味があります。献げ物はイエス・キリストを表していま
す。
アベルは救い主を信じる「信仰」によって犠牲の動物を献げたので、神に受け入れられました。

4. 火曜日：犯罪

カインは自分で作った食べ物で救いを得ようとしたため、カインの献げ物は受け入れられませんでした。(創4：5)。カインは受け入れられないので怒りましたが、神は怒りません。神はカインを悔い改めと救いに導くために質問と助言を与えられました。

質問：どうして怒るのか(6節)という神の質問は、神がアダムに働きかけた質問と同じです。神は質問をして、カインが正しいことをするように導こうとされました。神はカインを悔い改めに導いて、正しい道に戻って欲しいと願われました。

助言：「お前はそれを支配せねばならない」(7節)という神の助言は、カインに自制を求めています。自制とは感情や欲望を抑えて、信仰によって正しいことを行うことです。

5. 水曜日：カインに対する罰

神は全てをご存じのお方です。しかし神は「お前の弟アベルは、どこにいるのか」とカインに尋ねました。神はアベルに悔い改めのチャンスを与えています。

アダムが罪を犯し、「どこにいるのか。」(創3：9)と神に質問された時、アダムはエバのせいにしてしましたが、罪を犯したことは認めました。しかし、創世記4章のカインは神の質問によって悔い改めることなく、自分の罪を認めることもしませんでした。

カインは自分の罪を認めず、悔い改めなかった為に、神の「御顔から隠されて」さすらい者となりました。神はカインを悔い改めに導いて救おうと何度も質問し助言を与えました。しかし、カインが最後まで神の助けを拒んだために、カインは神の前から出ていかなければならなくなりました。神の御顔から隠されて生きるとは、神の守りと祝福から離れることを意味します。カインが神から離れていったのですから、どうしようもないことですが、それでも神はカインが殺されないように「しるし」(創4：15)を与えられました。どのようなしるしかは分かりませんが、人類で最初の殺人者に対しても神は最後まで哀れみ、守りを与えられる愛の神であることが分かれます。

6. 木曜日：人の邪悪さ

カインの残した遺産は悔い改めない心です。特にカインから5代目のレメクは犯罪者として、全く悔い改めない生き方を受け継ぎました。

カインとレメクの違い：

- カインは自分の犯した罪に対して沈黙を守った。レメクは自分の犯罪を自慢した。
- カインは神に憐れみを求めた。レメクは憐れみを求めなかった。
- 神がカインのために7回復讐されるなら、レメクのためには77倍復讐されるだろう、とレメクは勝手に言った。

● カインは^{いっ ぶ いっ さい まも}一夫一妻を守った。レメクは^{いっ ぶ た さい}一夫多妻をした。

カインの子孫^{し そん つみ ふか}の罪は深まるばかりです。

そのような中でアダムは^{な か ふた た こ さず}再び子を授かりました。アダムはセトを授かりました。セトの子孫^{し そん}がノアです。

カインの子孫^{し そん}とセトの子孫^{し そん}が^{し そん い み}分かれて住んでいる時は問題ありませんでしたが、セトの子孫^{し そん}を意味する「人の子」^{ひと こ}がカインの子孫^{し そん}を意味する「人の娘たち」^{ひと むすめ}と結婚し始めて、人類は誤った方向^{けつこん ほじ じんるい あやま ほうこう}に進むことになりました。

罪は必ず^{つみ かなら だらく みちび}墮落へと導きます。あらゆる面で神に頼らなければ、私^{めん かみ たよ わたし}たちも最後^{さいご}には必ず罪に飲み込まれてしまいます。

7. 金曜日：さらなる研究

「エノクは神と共に歩み^{かみ とも あゆ}」という表^{ひょうげん}現は、神との親密な日々^{かみ しんみつ ひ び まじ}の交わりを意味します。エノクは毎日神と共に歩むことで、神と個人的な関係^{かみ こじんてき かんけい も}を持っていました。エノクは神と共に歩み^{かみ とも あゆ}、警告^{けいこく}の言葉^{ことば}に耳^{みみ}を傾ける者^{かたむ もの}には誰にでも神の使命^{かみ しめい}を伝えました。そして、エノクは生きたまま天^{てん}に上げられたのです。

世^よの終わりに生きる私^{お い わたし}たちもエノクのように神と共に歩み^{かみ とも}、福音^{ふくいん}を伝えるならば、再臨^{つた}の時に神は必ず私^{さいりん}たちを天^{とき}に引き上げて下さる、と希望^{かみ かなら わたし}を持つことができます。

振り返りの質問：

今週^{こんしゅう}はカインと彼の遺産^{かれ いさん まな}を学びました。創世記3章^{そうせい きさんしやう}で罪が犯されてから、罪は確実にほとんど全ての人を罪のとりこにしまいました。私^{わたし}たちも同じように罪を犯し、罪の世の中に生きています。ノアの時代に殆ど全ての人から悔い改めの心^{おな つみ おか つみ よ なか い}がなくなっていました。サタンは確実の勝利^{かくじつ しょうり}を収めていました。現代の世の中もサタンが確実に勝利^{おさ み}を収めているように見えます。多くの人^{おお}が神を信じなくなっていますが、エノクは神の救い^{かみ すく}を述べ伝えたので生きて天^{の つた い てん あ}に上げられました。エノクの「神と共に歩む」^{かみ とも あゆ}を具体的に考^{ぐたいてき}えてみましょう。私^{わたし}たちは神と共に歩んでいるのでしょうか。どのような点で神と共に歩んでいると言えるのでしょうか。また、神と共に歩んでいないと思える点^{かみ とも あゆ おも てん}があるのでしょうか。それはどのようにすれば神と共に歩むこと^{かみ とも あゆ つな}に繋がるのでしょうか。